

# 7月の衛研検査情報

～概要版～

## 医動物・種類同定検査結果（平成31年4月～令和元年6月）

医動物担当では、人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かると、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** 平成31年4月から令和元年6月の種類同定検査件数は、昆虫類1件（ハチ目）、その他の節足動物1件（ダニ目）でした。

[ハチ目1件] …「翅アリが2階の窓サッシ付近で死んでいる」との相談から、ヤマアリ亜科の一種が同定されました。アリ類では決まった時期に無数の有翅虫（雌雄成虫）が結婚飛行のため巣から飛び立ちます（種類によってその時期は異なる）。飛行を終えた雄成虫は、灯火、窓際に多数飛来し、不快害虫となることが多いです。

[ダニ目1件] …「自宅一室のカーペットに多数の虫がみられる」との相談から、クロバーハダニが同定されました。イネ科、クロバー、イチゴ、キャベツなど多くの植物に寄生します。しばしば人家に侵入し、不快害虫となることがあります。世界に広く分布しています。

## 簡易専用水道の水質事故の検査結果（平成30年度）

平成30年度に発生した「簡易専用水道」の水質事故事例を2例報告します。

**主な結果** [事例1] …「共同住宅で住居部分の複数の給水末端から「溶剤」の臭いがする」との相談から、受水槽（手前・奥）、給水栓（5・11階）で、臭気異常が認められ、トリメチルベンゼンを含有する製品の混入が疑われました。塗装工事で使用した溶剤が揮発して受水槽内の水道水に移染したと推定し、受水槽の清掃及び捨て水が行われました。

[事例2] …「事務所の7階の給水栓から黒く小さい粒子が出る」との相談から、黒色異物は、赤外分光分析のスペクトルとライブラリ判定の結果から、経年劣化したエチレンプロピレンゴムと推定されました。水質検査の結果、給水過程において水質変化は認められませんでした。

## 衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



**主な結果** 令和元年6月は、大麻（マリファナ）、EBウイルスと伝染性単核症、B群レンサ球菌感染症、ぎょう虫（蟻虫）症、トキソプラズマ症、水痘・带状疱疹、HIV感染症、健康な妊娠・出産のために注意したい感染症に関するページのアクセスが多くみられました。総件数は207,602件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください



<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/geppo/inspection-inf.html>

横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。